



取扱説明書

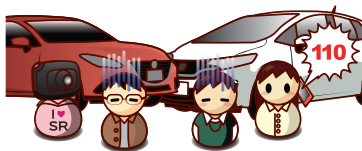
WHSR-510

Smart Reco *WHSR-510*

New Standard of Smart Car Life

もしも、事故に巻き込まれたら

まず落ち着いて、警察呼び、
相手の情報を確認します。
けが人がいたら救急も呼びます。



周りを見て、目撃者がいるか確認。
携帯のカメラなどで事故直後の
現場を撮影。



映像を再生できる機種であれば、
到着した警察と一緒に事故時の
映像を確認しましょう。



映像確認後、スマートレコの電源
をオフにして、事故映像が書き
で消えないよう、SDカードを本
体から取り外します。
※パソコンに映像データを
コピーしたら、本体に戻します。



保険会社への連絡や、病院に診察へ行くのもお忘れなく。

目次

01. SmartReco WHSR-510 製品使用前の注意事項	4
02. 禁止事項	5
03. 製品使用時の注意事項	7
04. 製品の特長	9
05. 構成品	11
06. 製品取付 - 取り付け時の注意事項	12
07. 取付け手順	15
08. 修理等で本体を取り外す場合	18
09. 本体電源をOFFにする方法	19
10. microSDカード挿入/取り外し方法	20
11. 各部分の名称及び機能	21
12. 製品機能の説明	23
13. 液晶タッチパネル	26
14. ファームウェアのアップデート	36
15. 専用ビューアーをインストールする	38
16. 専用ビューアーのメイン画面の説明	39
17. ボタンの説明	40
18. 全画面表示	43
19. デジタルズーム	44
20. 運行記録	45
21. ファイルを開く	47
22. 本体の環境設定	48
23. microSDカードの保存データ	50
24. 映像保存方式	51
25. 製品仕様	55
26. よくあるご質問	56
27. 保証書	59

本製品はタッチパネル搭載のドライブレコーダーであり、車両の事故や衝撃を感知した際の前方映像/後方映像/室内音声を保存し事故原因の分析を補助するデータを記録する製品です。

- SmartReco®は、株式会社ホワイトハウスの登録商標です。
- 本説明書の全ての内容は、著作権により保護されます。
- 本説明書に記載されている製品名その他のブランド名は、該当する各社の標章、商標または登録商標です。
- 不適切な使用及び装着、改造による故障や事故に対しては弊社は責任を負いません。
- 安全運行のために運転中の画面操作はおやめください。
- 本説明書に使用されるイメージ画像は、実際の製品とは異なる場合があります。
- 使用前に本説明書を読んで、製品を正しく安全にご使用ください。

■ 本製品は、車両安全運転補助製品です。事故発生時、全ての責任は消費者にありますので、製品の目的に合う使用をお願いします。

■ 本説明書は、製品機能向上のため、予告無しに変更する場合があります。

**警告**

この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う恐れがある』内容です。

**注意**

この表示の欄は、『損傷または物的損害が発生する恐れがある』内容です。

**警告**

- 運転中に操作をしないでください。
事故やけがの原因となります。操作やmicroSDカードの抜き挿しは、必ず安全な場所に車両を停車させて行ってください。
- 分解、修理及び改造をしないでください。
修理やサービスは必ず近くの販売店へご依頼ください。
- 水に濡れた場合、本製品を絶対に熱器具(電子レンジ、ドライヤー等)で乾燥させないでください。
爆発や変形、故障の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。
火災、感電、故障の原因となります。
- コードを挟んだり切ったりしないでください。
通信異常の原因になるだけでなく、断線やショートにより火災、感電、故障の原因となります。
- 機器内部に異物を入れないでください。
故障や火災、感電等の原因となります。特に、乳幼児にご注意ください。
- 運転の視界の妨げになる場所に絶対に取り付けしないでください。
事故やけがの原因となります。
- エアバックの妨げになる場所に絶対に取り付けしないでください。
エアバックが正常に作動しなかったり、作動したエアバックで本製品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。
- 本製品を故障や異常のまま使用しないでください。
万一、故障や異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故や火災、感電の原因となります。
- microSDカードは乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 本製品は外れたり、落下しないようにしっかり取り付けてください。
固定が弱いと、走行中に外れる、落下する等、事故やけがの原因となります。また、振動により性能が低下する可能性があります。
- 本製品は洗浄しないでください。
化学物質(ベンジン・シンナー・アルコール類など)は使用しないでください。爆発や火災が発生する可能性があります。お手入れする場合は、電源コードを本体から抜き、電源OFF状態になったことを確認後、水を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、乾拭きします。

注意

- エンジンを止めた状態(駐車監視モード)で、本製品を長時間(約24時間以上)使用しないでください。
車両を長時間使用しない場合は、駐車監視スイッチをOFFにしてください。また、電源自動遮断機能が働いてもエンジン始動が困難になる可能性があります。電源自動遮断機能作動後は、画像が記録されません。
- 本製品を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
- 炎天下や高温または極寒になる場所に長時間放置しないでください。
本体の温度が動作温度(-20~70℃)外になりますと、本体の機能が正常に作動しなくなりま
す。また、サンシェードとフロントガラスの間に本体があると、本体が高温になり、正常に作
動しなくなる場合があります。一部の車種にサンバイザーやサンシェードと本体・リアカメラ
が干渉する車種があります。その場合、サンバイザー・サンシェード等の使用を控えるか、撮
影に影響のない範囲で使用してください。
- ケーブル・コード類は運転や乗り降りの妨げにならないように配線してください。
- 本製品はオフロード等の舗装されていない道路を走行する車両や競技車両には使
用できません。
- 本製品で記録した映像は個人で楽しむ目的以外では、著作権法・個人情報保護法
上などの規則のため、無断で使用する事はできません。また、使用方法によって
被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合があります。
- 本製品は事故を防止する装置ではありません。また、状況によっては画像ファイ
ルが記録されない場合があります。
- 本製品を取り付けたガラスは常にきれいにしてください。
汚れている場合は、正常な走行映像を記録する事ができませんので、ご注意ください。
- 車両のガラス面に光が反射して、映像の品質が著しく低下する可能性があります
す。
- 着色ガラスやカーフィルムの濃度により、特に夜間など、画質が低下する可能
性があります。製品取付後に撮影テストを行い、映像品質を必ずお確かめのうえご
使用ください。
- LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、正確に撮影されない場合
があります。信号で判断できない場合は、前後の映像や周辺の車両状況から判断
してください。
- 本体の自己診断機能により、電源をONにしてから起動するまでに約1分の時間
を要します。
本体が起動するまでは映像が記録されませんので、本体が起動したことを確認してから、車を
運転してください。

【 保証と責任の範囲 】

- 本製品は安全運転のための補助装置です。本製品の故障による損害、データの損失による損害、その他本製品を使用することにより発生した損害に対して弊社では一切の責任を負いません。
- 重要な画像を録画した場合、ファイル消失を防ぐために、microSDカードを本体から取り外し大切に保管してください。
- 本製品は車の運行状況を録画/保存することを目的とした装置ですが、予期せぬ事由により、録画されない場合や、録画されたファイルが再生できない場合があります。
- 本製品を分解、修理及び改造等をした場合の故障及び事故に対して弊社では一切の責任を負いません。
- 不適切な使用方法、取り付けによる故障及び事故に対して弊社では一切の責任を負いません。
- 本製品並びに取扱説明書は品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。
- 経年変化や、使用状況によってはバックアップ機能が作動しない場合があります。
- 本製品に対する全てのソフトウェアおよびハードウェアの著作権は弊社に帰属します。本製品に関する著作権及び知的財産権を無断で使用、複製、加工、配布することは絶対におやめください。
- 本製品は安全運転のための補助装置です。事故の検証に役立つことも目的の一つですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 衝撃が発生した時の映像が記録されなかった場合や記録されたデータが破損していた場合の損害、本製品の故障や本製品の使用によって生じた損害について、弊社では一切の責任を負いません。
- 本書に記載されている事項に従わずに使用し、事故や故障が発生した場合、弊社では一切の責任を負いません。
- 本製品をいたずら、及び他人の迷惑になる行為に使用しないでください。また、本来の使用目的以外の用途では絶対に使用しないでください。弊社では一切の責任を負いません。
- コンピューター本体の性能により一部ビューアーが正常に再生されない場合があります。映像再生がスムーズに行えるスペックが必要です。
- 地図の表示にはインターネットに接続できる環境が必要です。
- 本製品をご使用前に、必ず取扱説明書の記載事項をご確認いただき安全にご使用ください。また、本書はいつでも見られるところに必ず保管してください。

・専用ビューアーのインストールはインターネットに接続した環境で行ってください。インターネットに接続されていない環境でインストールすると正常にインストールされない場合があります。

【 microSDカード使用時の注意事項 】

- microSDカードの抜き挿しは、必ず本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。電源が入っている時にmicroSDカードの抜き挿しを行うと、microSDカードが破損するだけでなく、本製品が故障する恐れがあります。microSDカードへのデータ書き込み中（LEDランプ点灯中）は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。microSDカードが破損するだけでなく、本製品が故障する恐れがあります。microSDカードを抜く場合は、本体の駐車監視スイッチをOFFにしてエンジンを切り、必ず本体の全てのLEDランプが消灯したことを確認してから行ってください。
- ファイル保存中に電源が切断された場合、バックアップ機能を利用して最後のファイルを保存している間、LEDが暫く点灯します。LED点灯中はmicroSDカードを本体から抜かないでください。
- 本体を使用する前に、microSDカードに画像が保存されることを確認してから運用を開始してください。また、定期的にmicroSDカードを点検してください。microSDカードは必ず電源を切った状態で抜き挿しをしてください。
- microSDカードには本製品で記録されるデータ以外は保存しないでください。
- 本製品が正常に作動しているか確認するために、1週間に一度は記録データの内容を確認してください。
- 保存ファイルは定期的にバックアップをしてください。保存容量を超過した場合、一番古いファイルから上書きされるため、定期的にバックアップし、必要なファイルが削除されないようご注意ください。
- 必ず弊社の指定する純正microSDカードをご使用ください。弊社指定microSDカード以外を使用されますと正常に録画されない場合があります。

microSDカードは消耗品です。microSDカードには一般的に寿命があるため、長期間使用すると新しいデータが録画されません。このような場合には新しいmicroSDカードをご使用ください。

いかなる場合もデータの消滅に対して、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

microSDカードへ書き込み中に、カードを抜くと、最後のデータが記録されませんのでご注意ください。これらの事象に対して弊社では一切の責任を負いません。事故映像等の重要なデータは、上書き防止のためmicroSDカードを即座に本体から抜いて別の場所で保管してください。複数のmicroSDカードを所有されることをお勧めします。

純正microSDカードのご購入は下記ホームページまたはインフォメーションセンターまで
URL : <http://www.smartreco.jp/> TEL : 0561-67-5511

駐車監視録画

駐車中はモーションセンサー及び衝撃により、当て逃げ等必要な映像だけ鮮明に記録できるように駐車録画を行います。

前方と後方を同時に録画、2チャンネルドライブレコーダー

ドライブレコーダー本体から前方映像を録画し、室内に装着する後方カメラ(オプション)を通して後方映像を録画する2CHドライブレコーダーです。

録画中または、録画した映像を2.4インチTFT タッチパネルですぐ確認

前方・後方映像を2.4インチTFT タッチパネルですぐ確認できます。
また、保存された映像をタッチパネルですぐに探して再生できます。

音声案内搭載

音声案内を通して製品の動作状態を確認できます。
当て逃げがあった場合でもエンジン始動時に音声案内が流れます。

鮮明な画質、最適な視野角で前方Full HD / 後方HDの高画質映像記録

走行映像、駐車監視映像を鮮明に記録できるよう最適な解像度及び視野角で録画します。

ナイトビジョン搭載

夜間でも明るい映像で記録できます。(前方映像のみ)

フォーマットフリー機能

フォーマットフリー機能が適用され、microSDカードの定期的なフォーマットは不要です。

(ただし、microSDカードが原因で保存ができない場合は、新しいmicroSDカードへ交換が必要です。)

■ 簡単な設定変更

ドライブレコーダー本体のタッチパネルから設定を変更できます

■ 常時録画機能

走行中、1分単位の映像ファイルで録画保存を行います。

■ イベント(衝撃) 強制録画

走行中、外部衝撃が発生するか、本体スイッチを短く押すと押す前の5秒、後の15秒(合計20秒)の映像をイベントフォルダに保存します。

■ メモリ自動管理機能

メモ리카ードに保存容量が足りない場合にも継続的に走行映像を記録するため、各フォルダ別に古い映像ファイルから順次削除する自動管理機能が働きます。

■ 専用 PCビューアー対応

ドライブレコーダーの映像をPCビューアーで再生すると、前方後方2チャンネルを同時に再生しながら、各運行情報を簡単に確認できます。

■ バッテリー上がり防止の電圧遮断機能を搭載

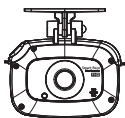
車両のバッテリー上がりを防止するため電源を遮断する装置が内蔵されています。設定された遮断電圧/遮断時間により駐車監視モード中、自動的にドライブレコーダーの電源がOFFになり、ドライブレコーダーによるバッテリー上がりを防止します。

■ 電波干渉対策済

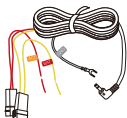
■ LED信号対策済

製品購入後、本体及び付属品が全て揃っていることを確認してください。
万が一、本体及び付属品に破損または異常がある場合は、直ちに本製品を購入した販売店にご連絡ください。

基本構成



本体、
ブラケット



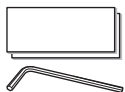
電源 ケーブル



SmartReco専用
microSDカード



microSDカード
リーダー



六角レンチ
両面テープ(2枚)

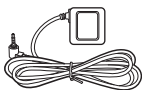


結束バンド(10本)
クッションテープ
(1枚)



取扱説明書

オプション(別売)



GPSモジュール



後方カメラ,
接続ケーブル

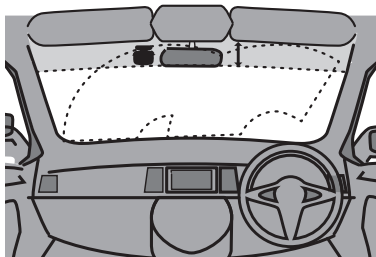


シガー電源
ケーブル

上記付属品は予告なく変更される場合があります。
(上記はイメージ画像ですので、実物と異なる場合があります。)

- 本製品を取り付ける際には、本体及び付属品が全て揃っていることを確認し、取り付け方法を確認した上で、所定の手順に従って取り付けてください。取り付けに分解整備を伴う場合や車両ハーネスから直接電源を供給する場合は必ず自動車整備認証工場または指定工場で行ってください。(シガー電源ケーブルを使用する場合は除く。)
 - 取り付け作業は、できる限り水平な場所で、必ずバッテリーのマイナス端子を外した状態で行ってください。
 - SRS(エアバック)等、車両の安全装置や、その他の装置に影響が出る場所に絶対に設置しないでください。
 - ガラスの塗装部分及び熱線などは避けて取り付けてください。脱着時に塗装部分及び熱線が剥がれる恐れがあります。
 - 本製品を取り付けたフロントガラスは常にきれいにしてください。
 - 設置場所の明るさや、ガラスの反射等により、映像品質が落ちる場合があります。取り付け後に撮影テストを行い、映像品質に問題が出ない場所に設置してください。
 - 本製品は、運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ※ ルームミラー裏側に設置することをお勧めします。「審査事務規定 第5章 5-47」により、フロントガラス上縁からガラス実長の20%以内の範囲にカメラを貼り付けることで車検に適合します。(平成26年11月現在)
- ワイパーの拭き取り位置を確認して取り付けてください。

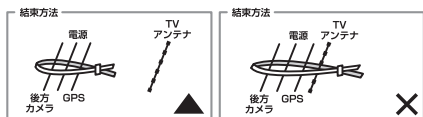
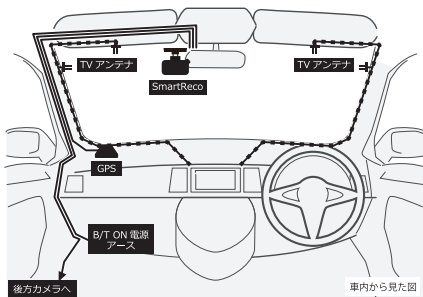
【本体の取り付け位置イメージ（車内のイメージ）】



製品本体や後方カメラ・GPSモジュールは他の電波を利用した製品に影響がない場所へ取り付けてください。電波を利用した製品の例：GPS・ETC・VICS・レーダー探知機・テレビ・ラジオ・電話等。装着場合によっては同時装着が出来ない場合もありますのでご注意ください。また、GPSは微弱な電波を受信しており、電波を遮る障害物にも影響を受けます。状況に応じて、GPSアンテナの設置場所を選択してください。

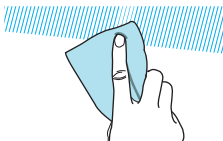
本製品のGPSモジュールはカーナビゲーションのGPSアンテナ（フィルムアンテナ含む）と50cm以上距離を離して取り付けてください。電波障害によりカーナビゲーションが正しく表示されない場合があります。電波障害が起きた場合は、本製品のGPSモジュールの取り付け位置を調整し、本製品の電源ケーブルを電源端子から取り外し、再度接続してください。

電波障害により、テレビが受信できなくなる場合があります。この場合、テレビの使用を中止してください。



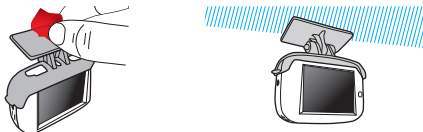
- 図の様にフロントガラスにTVアンテナが取り付けられている車輛に本製品を使用する場合、テレビの電波干渉が起きる可能性があります。走行中は、テレビを見ないでください。
- 図の様に本製品の配線とTVアンテナ線はできる限り離して取り付けてください。
- 本製品とテレビを同時使用し発生した電波障害は、保証の対象になりません。
- スマートレコで結線した配線は、TVアンテナの配線から可能な限り離してください。

1



本体を装着する位置のフロントガラス、後方カメラを装着する位置のリアガラスの脱脂作業を行いきれいにします。

2



ブラケットの両面テープのフィルムを除去した後
運転者の視界に妨げにならない位置に、空気を抜きながら取り付けます。

※ サンバイザーやSRS(エアバッグ等)に影響の無い場所を選んでください。

3



後方カメラも同様の方法で両面テープのフィルムを除去した後、
リアガラスに接着してください。

※ リアサンシェード装着車は干渉しない場所に設置してください。

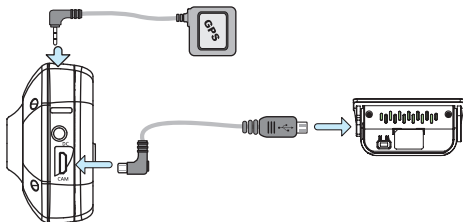
4



前、後方カメラのレンズ保護フィルムを指紋がつかないように丁寧に取ってください。

※ レンズ保護フィルムを除去しなかった場合、録画画質が低下します。

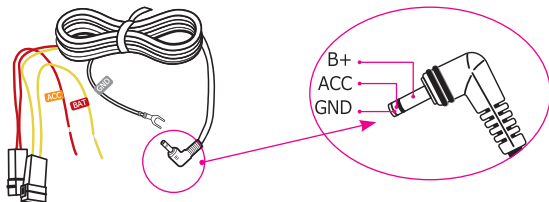
5



後方カメラにケーブルを繋げ、本体には電源ケーブルを繋げていない状態で後方カメラケーブルとGPSモジュール(オプション)を接続します。

※ 後方カメラとGPS(オプション)は必ず電源を切った状態で連結してください。本体が故障する恐れがあります。

6

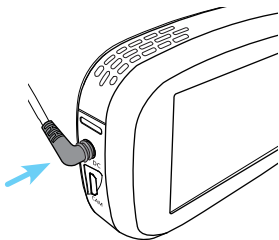


車両から電源を接続し、本体に電源ケーブルを繋げます。

※ 電源の接続は、専門店(ディーラー、車両電装店等)で行ってください。

配線が間違っている場合は正常に動作しなかったり、製品が故障する可能性があります。

- 黒色 : GND(アースポイント)
- 赤色 : ACC(エンジンがONの時、電源が供給される箇所)
- 黄色 : BAT(エンジンON/OFFに関わらず、常に電源が供給される箇所)

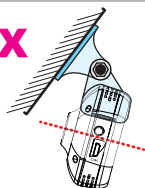


7



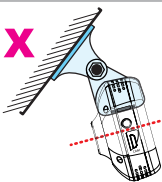
電源スイッチで電源確認後、タッチパネル画面を見ながら撮影角度を調節し、六角レンチでブラケットの固定ねじを締めてください。**ねじの締めすぎにご注意ください。**

X



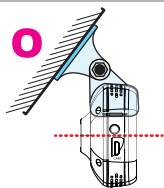
上向きすぎ

X



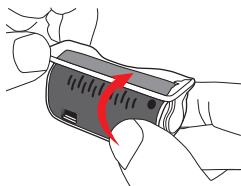
下向きすぎ

O



ボンネットと前方が適切に見えるように設置

8



後方カメラのカメラ部分を上下に回して適切な位置で角度を調節してください。

9



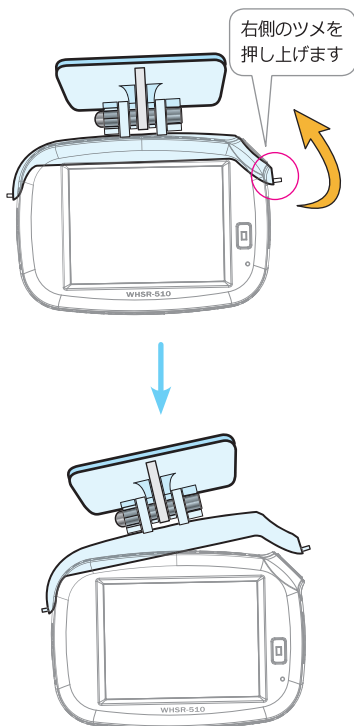
装着完了後、前後共プレビュー画面を確認してください。

※ 映像確認方法

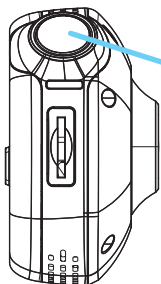
- 1)画面タッチ後、映像リストメニューで録画された前後方映像を確認することができます。
- 2)microSD カードをPCに接続し、PC専用ビューアで映像の確認ができます。

修理等で本体を取り外す場合

本体に接続されているケーブルを外した状態で行ってください。



本体電源をOFFにする方法



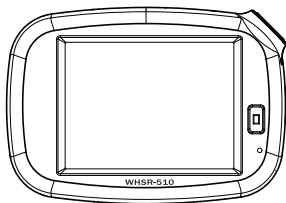
スイッチを長押(5秒)し
駐車監視がP-OFFになったのを確認したあと、
エンジンをOFFする

※ もしくは、電源ケーブルを抜いてください。

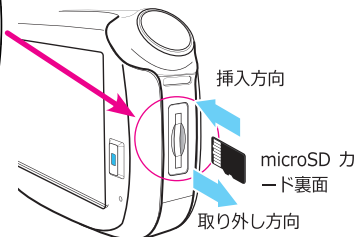


microSDカード挿入/取り外し方法

※ 必ず本体電源をOFFにしてから行ってください。



microSDカードを矢印の方向でカチッと音がするまで挿入してください。

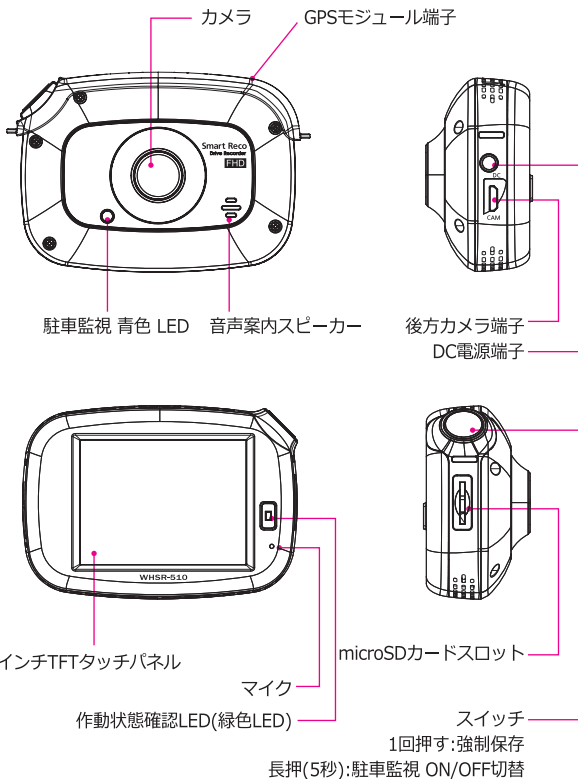


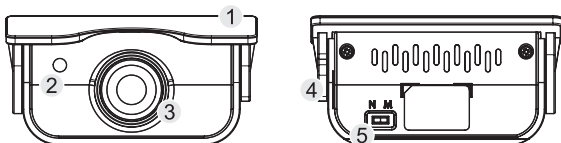
挿入されたmicroSDカードを奥に押しゆっくり手を放してください。

※ microSDカードを無理に挿入した場合、本体とmicroSDカードの損傷が起こる可能性があります。損傷が発生した問題に対して弊社は一切の責任を負いません。

メモリーカード使用の際の注意事項

- メモリーカードは寿命がある消耗品ですので、6ヶ月を超えた場合正常に録画がされない場合があります。
製品寿命が超過したメモリーカードは交替してください。
- 製品の正常作動を確認するため、週1回以上データの確認を行ってください。
- メモリーカードはSmartReco純正品をご使用ください。当社純正のメモリーカード以外のカードを使い起こった問題などに関しては弊社は一切の責任を負いません。
- 本体の電源がOFFの時にメモリーカードの取り外しを行ってください。録画時に抜き差しを行うとメモリーカード及び本体が破損する恐れがあります。
- 重要な録画映像データはメモリーカード以外の別途保存装置にバックアップすることでデータの紛失を未然に防止することができます。





名称	機能説明
① 接着面	リアガラスと後方カメラの接着面
② 駐車監視LED	駐車監視モード中に青色 LEDが点滅します。
③ カメラレンズ	後方カメラレンズ
④ 接続端子	本体とケーブルで接続します。
⑤ 画面反転スイッチ	録画映像の反転を切り替えます。 (N：基本 / M：左右反転)

操作	状況	動作	音声案内	LED表示
モード切替	駐車モード -> (ACC ON)	常時モード動作	“常時録画モードに切り替えます”	-
	常時モード -> (ACC OFF)	駐車モード動作	“駐車監視モードに切り替えます”	-
駐車監視スイッチ	1回押す	強制イベント録画	ブザー音1回	緑色 LED 1秒に2回点滅
	長押し(5秒以上)	駐車モード使用有無設定	ブザー音1回	-
常時録画モード (ACC ON)	常時録画	1分単位で連続録画	-	緑色 LED 点灯
	メニュー画面表示時	録画中止	ブザー音1回	青色 / 緑色 LED 点灯
	衝撃発生時	衝撃感知 前5秒・後15秒 (合計20秒)の映像保存	ブザー音2回	緑色 LED 1秒に2回点滅
	GPS(オプション)信号受信時	映像下段に‘G’ と表示 速度測定及び運行記録保存開始	“GPS信号を受信しました”	-
	高温遮断作動時/ 高温遮断状態からタッチパネルタッチ時	タッチパネル強制終了状態	“高温状態のため、液晶タッチパネルをOFFにしました。”	-

操作	状況	動作	音声案内	LED表示
駐車監視 モード (ACC OFF)	モーション感知時	感知前の5秒、 後の25秒(合計 30秒)映像保存	-	青色 LED 1秒 (に2回 点滅)
	衝撃感知時	衝撃を感知した 時点から30秒 間の映像を保存	ブザー音2回	青色 LED 1秒 (に4回 点滅)
	遮断電圧、 遮断時間、 高温による終了 時	遮断された記録 をSDカードに 残して終了	ブザー音1回	-
その他	ファームウェア アップデート	アップデート後 再起動	“アップデート を開始します”	青色 / 緑色 LED点滅
	SDカードが挿入 されていない場 合、SDカードに 異常があった場 合	音声案内後再起 動	“microSDカー ドを確認して ください”	-

※ 駐車/常時に切替時、ドライブレコーダーの再起動が終わるまでは映像は録画されません。

※ 音量及び駐車モードLED設定値により音声案内及びLED表示が動作しない場合があります。

音声案内	状況
“常時録画モードに切り替わります”	-駐車監視モード⇒常時録画モード
“駐車監視モードに切り替わります”	-常時録画モード⇒駐車監視モード
“GPS信号を受信しました”	-常時録画モードでGPS信号を受信したとき(一回のみ案内)
“駐車監視中に衝撃を感知しました”	-駐車中イベントファイルが作成された場合、常時録画モードに切り替わるとき
“microSDカードを確認してください”	-microSDカードが確認できない場合。microSDカードが挿入されていないか、認識不良になっている状況
“フォーマットを開始します”	-microSDカードのフォーマット開始
“高温動作状態のため、液晶タッチパネルをOFFにしました”	-常時録画モードで高温状態になったとき -常時録画モードで、高温状態によりOFFになった液晶タッチパネルをタッチしたとき
“アップデートを開始します”	-microSDカードにファームウェアのアップデートファイルを入れて起動した場合



[常時録画面]

[P-ON] P-ON : 駐車監視録画 使用
P-OFF : 駐車監視録画 使用しない

REC REC : 常時録画 / EVT : イベント録画

[SmartReco: 1.0] ファームウェアのバージョン

2016-09-01 15:30:33 常時録画時間

M 音声録音 使用有無(OFF時 “M” 表示)

G GPS受信状態表示 (ON時 “G”表示)

- 常時録画モードで起動が完了すると常時録画面が表示されます。
- 常時録画面でファームウェアのバージョン、常時録画時間、音声録音使用有無、GPS受信確認、録画状態(REC、EVT)、駐車監視モードの使用有無が確認できます。
- 常時録画面で1分間タッチしないと、スクリーンセーバーに切り替わります。スクリーンセーバー状態で1分間タッチしないとタッチパネルがOFFされます。(録画は停止されません)

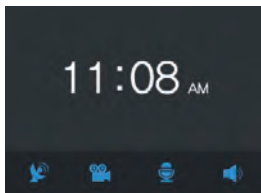
- ※ スクリーンセーバーは“1分/2分/3分”から選択することができます。
- ※ 安全のため、常時録画面を常に表示させることはできません。
- ※ タッチパネルの明るさは自動調整されます。

本体温度が80℃以上の高温状態になった場合、製品保護のため自動的にタッチパネルを消灯します。録画は続きます。

本体温度が下がり、70℃以下の状態が1分間持続すると自動的にタッチパネル表示が復帰します。

解除条件になるまでタッチパネル消灯状態を維持します。







高温状態時にタッチパネルを触った場合、音声案内が流れます。“高温動作状態のため、液晶タッチパネルをOFFにしました。”



[スクリーンセーバー]

■ 常時録画画面から1分間タッチしないとスクリーンセーバーに切り替わり、スクリーンセーバー状態から1分間タッチしないとタッチパネルがOFFになります。

※ スクリーンセーバーは“1分/2分/3分”から選択する事ができます。

アイコン	意味
 GPS ON  GPS OFF	GPS受信状態を確認できます。
 強制録画中  常時録画中	強制的にタッチした時から録画を開始します。 タッチする前の5秒間、後の15秒間(合計20秒間)イベント映像を保存します。
 音声録音使用  音声録音使用しない	音声録音のON/OFFを確認できます
 ON  OFF ← タッチして変更 →	音声案内のON/OFFを切替できます。



- 常時録画モード中に常時録画面からタッチパネルをタッチすると、メニュー画面が表示されます。
- メニュー画面には、前方画面（後方画面）、強制保存、ファイル再生、タッチパネル OFF、システム状態、設定の6つのアイコンが表示されます。
- メニュー画面状態に移っても録画は停止されません。

アイコン	意味
	前方/後方画面 常時録画面を前方もしくは後方に切り替えます。
	強制保存 常時録画中、[強制保存]アイコンをタッチすると強制的にその時から前5秒、後15秒の20秒間のファイルをEventフォルダに記録します。
	ファイル再生 ファイル再生画面へ移動します。microSDカードに保存されているファイルを再生します。
	タッチパネル OFF 液晶タッチパネルをON/OFFします。OFFになった液晶タッチパネルをタッチすると前方画面が表示されます。
	システム 状態 ファームウェアバージョン、microSDカード 使用量等、ドライブレコーダーの情報が確認できます。
	設定 ドライブレコーダー設定を変更する事ができます。



ファイル再生

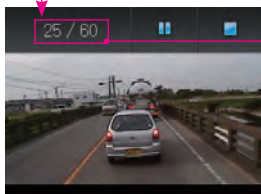
[◀ \[前の画面へ移動\]](#)


- ファイル再生：常時、イベント、駐車モーション、駐車イベントの映像リストを再生します。
- ファイル再生メニューに移すと録画を中止します。
- タッチすると該当するファイルリスト画面に切り替わります。
- 2分間タッチ操作しないと常時録画画面に切り替わります。





アイコン	意味
	常時録画映像リスト
	イベント感知映像リスト
	駐車監視中のモーション感知映像リスト
	駐車監視中のイベント感知映像リスト






タッチして該当の映像を再生します。



※ (現在 再生 時間) / (映像 全体 時間)

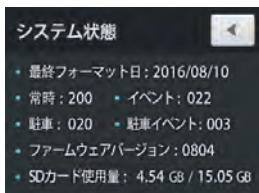
アイコン	意味
 	前方、後方 切替
 	ファイルリストからページごとに移動

アイコン	意味
 	再生 / 一時停止 タッチするとアイコンが切り替わります。
	停止 映像再生停止後、映像リスト画面へ移動します。

- 映像を再生開始すると映像表示と共に再生コントロール画面が表示されます。
- 映像部分をタッチすると再生画面(全画面)を表示します。
- ファイル再生中は録画を停止します。



システム 状態

[◀ \[前の画面へ移動\]](#)

- 最終フォーマット日: microSDカードを最後にフォーマットした日付が表示されます。
- 保存された常時ファイル、イベントファイル、駐車モーションファイル、駐車イベントファイルの個数が表示されます。
- ファームウェアバージョン: ドライブレコーダーのソフトウェアバージョンが表示されます。
- SDカード使用量: microSDカードの現在使用されている容量/使用可能な容量が表示されます。

注意 システム状態表示中は録画を停止します。



設定

[前の画面へ移動]



アイコン	意味
	システム設定 センサー感度、駐車SDカード割当量、駐車遮断等の設定を行う事ができます。
	時刻 時刻設定を行う事が出来ます。
	音声/画面 スクリーンセーバー設定、ナイトビジョン 設定、タッチ補正、音量設定、音声録音使用設定を行う事ができます。
	フォーマット microSDカードをフォーマットします。

※ GPSモジュール(オプション)が、接続されGPS信号を受信すると自動的に時刻が設定されます。その場合、時間設定メニューを選択することができません。



システム 設定




◀ [前の画面へ移動]

☰ [ホーム画面]



※左記画面が初期設定値です。

アイコン	意味
	遮断電圧 遮断電圧は“ 11.5V / 11.7V / 11.9V / 12.1V”から 選択する事ができます。
	遮断時間 遮断時間は“使用しない/ 6時間 / 12時間 / 24時間” から選択する事ができます。
	駐車容量 microSDカード内のParkingフォルダ保存容量を設定しま す。“0%、25%、50%”から選択する事ができます。 駐車モード保存容量を変更するためにはフォーマット が必要となります。

アイコン	意味
	<p>常時衝撃値 常時録画モード中に衝撃が起きた時、イベントを記録するための感度を設定します。“低感度、普通、高感度”から選択する事ができます。</p>
	<p>駐車感度 駐車監視モード中のモーション感度を設定します。“低感度、普通、高感度”から選択する事ができます。</p>
	<p>駐車衝撃値 駐車監視モード中に衝撃が起きた時、イベントを記録するための感度を設定します。“低感度、普通、高感度”から選択する事ができます。</p>

※ 常時衝撃値は PC専用ビューアーから“1～10段階”に細かい調整をする事ができます。

駐車監視モード中、本体温度が90℃以上の高温状態になった場合、製品保護のため自動的に駐車監視モードをOFFにします。
本体温度が下がり、70℃以下の状態が1分間持続すると自動的に駐車監視モードが復帰します。



音声/画面設定

◀ [前の画面へ移動]

☰ [ホーム画面]




※左記画面が初期設定値です。

アイコン	意味
	スクリーンセーバー スクリーンセーバーの切替時間を3段階(1分 / 2分 / 3分)から選択する事ができます。
	ナイトビジョン 周りの環境を感知して暗い場所でも明るい映像として録画します。明るさは3段階から選択できます。
	タッチ補正 左上→右上→右下→左下→中央の順に十字マークが表示されます。順番に十字マークをタッチするとタッチパネルの補正ができます。
	音声録音 映像と同時に音声を保存します。音声録音OFFにすると、音声は録音されず映像だけ保存します。
	音量 音声案内の音量を4段階(使用しない/1段階/2段階/3段階)から設定する事ができます。

※ 音声録音をOFFにすると常時録画面及び録画映像の下に“M”と表示されます。

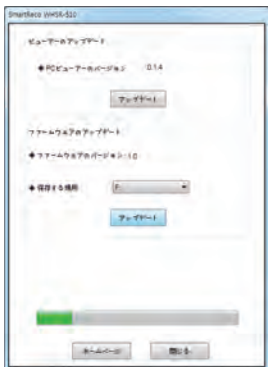
[アップデート方法]

1. ビューアーのメイン画面でプログラム情報  ボタンをクリックすると専用ビューアーとファームウェアのバージョン確認とアップデートをすることができます。(ファームウェアのバージョン情報保存されたmicroSDカードを挿入すると、①のようなファームウェア案内が表示されます)
2. microSDカードが挿入されたドライブか確認して[アップデート]ボタンをクリックしてください。ダウンロードがした最新のファームウェアのファイルがmicroSDカードにダウンロードされます。
3. アップデートが完了しますとmicroSDカードにアップデートファイル(WHSR510.bin)が生成されます。

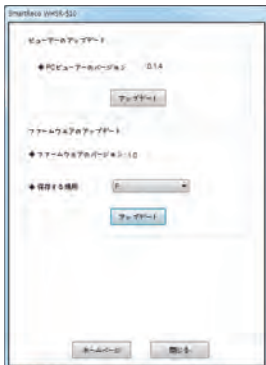
1



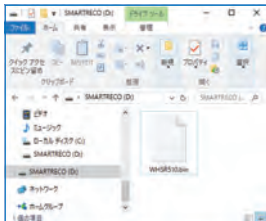
3



2

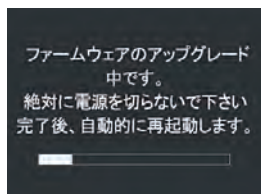
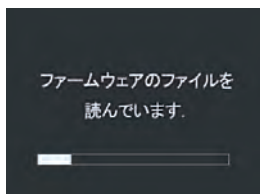


4



[アップデート方法]

4. ドライブレコーダーの電源をOFFしてからファームウェアファイルが保存されているmicroSDカードを挿入します。
5. ドライブレコーダーの電源をONすると“アップデートを開始します”と案内音声が出てアップデートが開始されます。
アップデートが完了したら自動的に再起動します。



6. ドライブレコーダーが再起動したら録画を開始します。

※ アップデート中には、絶対に電源を切ったりmicroSDカードを抜かないでください。

※ アップデートの内容により、アップデート後microSDカードをフォーマットする必要がある場合もあります。

※ アップデート中は録画を停止します。

専用ビューアーをインストールする

1. microSDカードに保存されたPCビューアー設置ファイル(SmartReco WHSR-510.exe)を実行してから、下記の順番にそってクリックするとインストールが完了します。



5



[専用ビューアー作動環境]

- OS : Windows7(32/64bit)、Windows 8.X(32/64bit)、Windows10(32/64bit)
- CPU・メモリ : Intel Core i3以上 / 4GB RAM以上
- ウェブブラウザ : Microsoft Internet Explorer 11 以上
- ディスプレイ解像度 1366X768以上
- タブレット端末には対応しません。









16 専用ビューアのメイン画面の説明













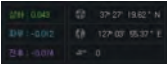



①	ビューア/ ファームウェアのバージョン情報及びアップデート	
②	前方映像	⑧ 本体の環境設定
③	映像操作ボタン	⑨ ハードウェアアクセラレーション ON/OFF
④	後方映像	⑩ Gセンサー衝撃値/緯度/経度/速度
⑤	ズーム, 全画面表示	⑪ 地図 ON/OFF
⑥	音量, 明るさ, 再生速度	⑫ ファイルを開く, 並べ替え
⑦	運行記録再生	⑬ プレイリスト

-緯度, 経度, 速度, マップ情報はGPSモジュール(オプション)が正しく電波を受信していない場合は表示されません。

-音声OFF(ミュート)で録画した映像は (M)で, GPS受信は (G)で前方映像右下に表示されます。

-  **プログラム情報**
専用ビューアとファームウェアのバージョン確認とアップデートができます。
※ ファームウェアのバージョン情報を確認するためにはmicroSDカードをコンピューターに接続する必要があります。
-  **拡大表示**
マウスのスクロールで拡大表示ができます。
-  **全画面表示**
前後の映像を全画面表示します。
-  **メイン画面に復帰**
全画面表示中、ビューアーメイン画面に戻ります。
-  **前のファイル/ 次のファイル再生**
映像再生中、再生中の前のファイル/次のファイルを再生します。
-  **再生/一時停止**
プレイリストから選択したファイルを再生したり、再生中のファイルを一時停止します。
-  **前のフレーム/次のフレームに移動**
映像再生中、このボタンをクリックすると一時停止し、画面が1秒単位で移動します。
-  **ファイルコピー**
現在再生中の映像を前後分離しパソコンにコピーします。

9.  **画面プリント**
ビューアの全画面を印刷します。
10.  **画面キャプチャ**
ビューアの再生画面を PNGファイルで保存します。
11.  **前方後方画面切替**
ビューアの前方向画面と後方向画面の表示位置を切替えます。
12.  **速度/加速度グラフ表示**
グラフ表示ボタンをクリックすると、別のウィンドウを表示します。
13.   **加速度/速度の切替**
トグルボタンとなっており加速度と速度グラフを交互に表示します。
※GPSモジュール(オプション)が正しく電波を受信していない場合、速度グラフは表示されません。
14.  **運行記録再生**
運行記録を表示します。
※GPSモジュール(オプション)が正しく電波を受信していない場合は表示されません。
15.  **再生オプション**
映像の音量、明るさ、再生速度を調整することができます。
16.  **本体の環境設定**
本体の環境設定内容をmicroSDカードに保存します。 microSDカードをコンピューターに接続した後、設定することができます。

17.  ハードウェアアクセラレーションON/OFF
グラフィックカードのハードウェアアクセラレーションの使用可否の設定ができます。ハードウェアアクセラレーションに対応していないPCでは、OFFの状態ですべての映像再生が可能です。(基本設定：ON)
18.  衝撃、位置情報
衝撃値、緯度・経度、速度を表示します。GPSモジュール（オプション）が正しく電波を受信していない場合は表示されません。
19.  マップ表示 / 非表示
再生中の映像の運行位置情報をマップ上で表示します。GPSモジュール（オプション）が正しく電波を受信していない場合は表示されません。
20.  ファイルを開く
映像ファイルを選択します。ShiftキーまたはCtrlキーを押した状態で、カーソルで指定したファイルをクリックすると複数のファイルを同時に選択することができます。
21.  昇順/降順の切替
プレイリストのファイルの並び方を切り替えることができます。

※ハードウェアアクセラレーション
動画再生支援機能です。

対応パソコンでは、動画再生時のCPU負荷を軽減します。

18 全画面表示



前・後方面の
[全画面切替]ボタン



アイコン	意味
	メイン画面に復帰 全画面表示中、ビューアーメイン画面に戻ります。
	ビューア終了 ビューアーを終了します。
	画面キャプチャ ビューアーの再生画面を画像に保存します。
	前方後方面切替 前方画面と後方画面の表示位置を切り替えます。
	プレイリスト SDカードの映像リストを表示します。

19 デジタルズーム





[メイン画面から前方映像の拡大]









- 再生中の前方または後方映像をクリックしたり、拡大表示ボタンをクリックした後、マウスのスクロールを使い映像の拡大、縮小ができます。
- 拡大した状態で画面をドラッグし位置移動をすることができます。

- 運行記録は走行時10秒ごとに記録し、microSDカードのDATAフォルダの中にDATファイル形式で保存されます。一つのファイルには最大1週間の運行記録が保存され、日付順に運行記録リストが表示されます。(但し、GPSモジュール(オプション)が正しく電波を受信している場合に限りです。)




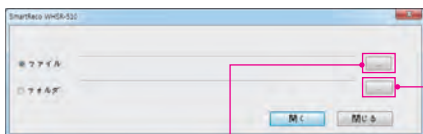
1. microSDカードをコンピューターに接続した後、ビューアーで  ボタンをクリックすると、運行記録モード(左側の図)が表示されます。
2. 左図のファイルを開く  ボタンをクリックすると、microSDカード内のDataフォルダにある.DATファイルを一覧で見ることができ、ファイルを選択すると、日付別に運行記録のリストを見ることができます。
3. リストから目的のファイルをクリックすると、右側に移動経路が表示されます。

※ DAT ファイルは最大5個（5週間分）まで保存できます。

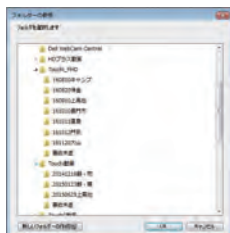
アイコン	説明
	microSDカードのDATAフォルダの中の運行記録ファイル(.dat)を開きます。
	運行記録の画面をキャプチャしてbmpファイルとして保存します。(保存先 : C:¥BlackBox¥CAPTURE)
	運行記録の画面を印刷します。
	移動経路の再生中に走行日と時刻を表示します。
	リストから選択した項目を移動経路順に再生します。
	移動経路再生中、移動した経路にマーカを表示します。
	1/2, 1, 2, 4倍速で再生します。
	運行記録ウィンドウを終了します。

■ ビューアーではmicroSDカードやコンピューターに保存されたドライブレコーダーの映像を選択し、再生することができます。


1. ビューアーのメイン画面で  ボタンをクリックします。
2. 任意のファイル/フォルダ方式を選択し、読み込みするファイル/フォルダの選択後「開く」ボタンをクリックします。
3. 選択された映像がプレイリストに表示されます。

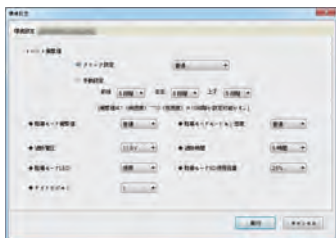


[ファイルの選択ウィンドウ]




[フォルダの選択ウィンドウ]

- **環境設定**：ビューアーで  ボタンをクリックすると、下記のようにドライブレコーダーの環境設定ウィンドウが開きます。



1. 常時・駐車モード衝撃値：ドライブレコーダーが衝撃で認識する感度を3段階(低感度,普通,高感度)から選択することができます。
※ 常時衝撃値は“手動設定”メニューから1~10段階で細かく調整することができます。
2. 駐車モードモーション感度：駐車監視モードでモーションとして認識する感度を3段階(低感度、普通、高感度)選択することができます。
3. 遮断電圧・時間：駐車監視モード中バッテリーの放電を防ぐためドライブレコーダーが自動的に終了する条件を設定することができます。電圧4段階(11.5V, 11.7V, 11.9V, 12.1V), 時間4段階(使用しない, 6時間, 12時間, 24時間) 設定できます。
4. 駐車モード割当量：SDカードの全体容量の中で駐車監視モードの録画割当量を3段階(0%, 25%, 50%)設定できます。但し, “0%”に 設定した場合、車のエンジンを切ると本体の電源をOFFします。駐車監視機能を使用できなくなりますのでご注意ください。
5. 駐車モードLED：駐車監視モード状態でセキュリティー青色 LEDの使用有無の設定ができます。
6. ナイトビジョン：周りの環境を感知し、暗い環境にいても、実際より明るい映像で録画されます。明るさは3段階調節できます。
※ 駐車監視モードの使用可否の変更を行う場合、microSDカードのフォーマットが必要です。

- **音声/映像/その他の設定**：ビューアーで  ボタンをクリックすると、下記のようにドライブレコーダーの環境設定ウィンドウが開きます。



1. スクリーンセーバー：1分,2分,3分 から選択できます。
2. 音声案内の音量：音量を4段階(使用しない, 小, 中, 大)から選択できます。
3. 音声録画：本製品は映像と同時に音声も保存します。音声録音OFFに設定すると音声は録音されず、映像だけ保存します。
4. 標準時刻設定は '(GMT +09:00) Osaka ... Seoul ...' を選択してください。
5. ドライバー及び車両番号：登録すると運行記録内でドライバー及び車両番号の確認ができます。

※ 駐車監視モードの使用可否の変更を行う場合、microSDカードのフォーマットが必要です。

- **Normal フォルダ**：常時モードでの1分単位の映像を連続し保存します。
- **Event フォルダ**：常時モード中発生したイベント(強制保存,衝撃) 発生5秒前,15秒後(合計20秒)の映像を保存します。
- **Parking フォルダ**：駐車監視モードでモーション感知をして録画された映像を保存します。モーション感知前5秒, 後25秒(合計30秒) 映像を保存します。
- **ParkingEvent フォルダ**：衝撃を感知した場合30秒の映像を保存します。
- **Setup フォルダ**：ドライブレコーダーの環境設定, 電源遮断記録 (cutoff.txt) が保存されるフォルダです。
- **Data フォルダ**：運行記録データを保存します。

■ 映像ファイル名の例

MDR_160701_093100.avi

映像種類 年/月/日 時/分/秒

■ 映像種類

- M: 常時録画映像
- E: 常時録画イベント映像,
- P: 駐車モーション感知映像
- A: 駐車監視イベント映像

電源遮断記録は 駐車監視モードが遮断された日時をテキストファイルで記録します。

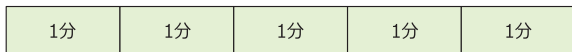
- 例) -2016/7/1 9:31: 00 CUTOFF_METHOD_TIME, TIME_06H
 駐車監視モードの設定時間(6時間)を過ぎたため、停止。
- 2016/7/1 9:31: 00 CUTOFF_METHOD_V, 11.11V
 電圧が遮断設定値まで下がったため、停止。
- 2016/7/1 9:31: 00 CUTOFF_METHOD_T, 91T
 本体温度が91℃に達したため、停止。

- <注意> 1. Setup フォルダを除いた他のフォルダの内容を変更(ファイル削除, 生成など)した場合本体からフォーマットをお勧めする案内メッセージが出ます。フォーマット後正常に動きます。(映像ファイルをコンピューターや他の保存装置へコピーをするのは問題ありません。)
2. コンピューターからメモリーカードをフォーマットした場合、本体でもう一度フォーマットした後正常作動します。

常時録画ファイル

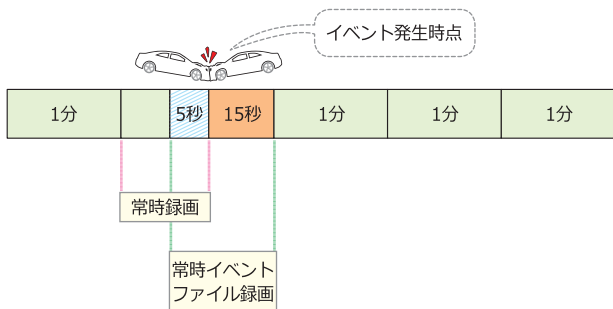
- 常時ファイル
- 常時イベントファイル

- 1分単位で映像を連続保存します。

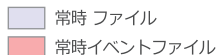


常時イベント ファイル

- 走行モード中発生したイベント(強制保存、衝撃)発生5秒前、15秒後(合計20秒)の映像を保存します。
- 常時ファイルはイベントが発生する前まで録画され、以降の映像はイベントファイルで保存されます。

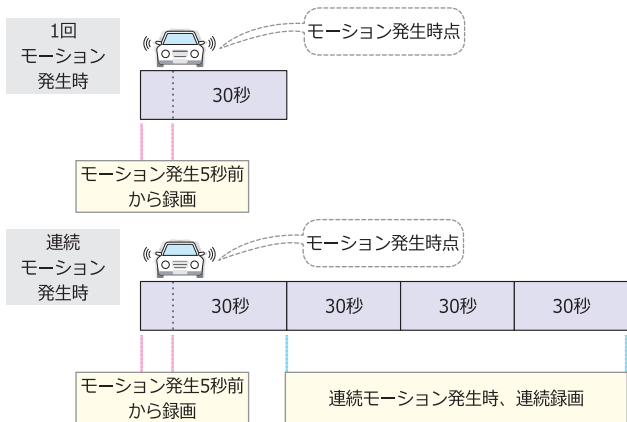


※ イベント発生時、常時ファイルとイベントファイルの映像が重なる時点(イベント発生以前の5秒間)は常時ファイル、イベントファイル両方で保存されます。



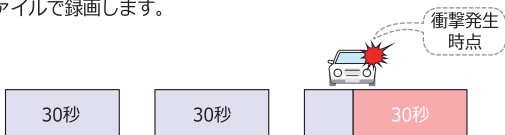
■ 駐車モーショントファイル

- 駐車モード中モーションが発生した場合、モーション発生前 5秒、後25秒 (総30秒)の映像を保存します。
- 連続モーションが発生した場合、次回の駐車モーショントファイルは 5秒前の映像無しで、映像が続けて録画されます。



■ 駐車衝撃ファイル

- 駐車モーショント録画中衝撃発が発生した場合、衝撃発時点から30秒の映像を衝撃ファイルで録画します。



- microSDカードの全体の容量からNormalフォルダ、Eventフォルダ、Parkingフォルダ、Parking Eventフォルダが各タイプ別に設定された容量で割当てられて保存します。microSDカードの容量によりファイルの数は異なります。

駐車使用量 25% 設定時

SD 容量	走行 (60%)		走行イベント (13%)		駐車 (20%)		駐車イベント (5%)	
	ファイルの数	最大録 画時間 (分)	ファイルの数	最大録 画時間 (分)	ファイルの数	最大録 画時間 (分)	ファイルの数	最大録 画時間 (分)
16GB	84	84	55	18	58	29	14	7
32GB	169	169	110	36	117	58	29	14
64GB	341	341	222	74	236	118	59	29

駐車使用量 50% 設定時

SD 容量	走行 (40%)		走行イベント (10%)		駐車 (40%)		駐車イベント (8%)	
	ファイルの数	最大録 画時間 (分)	ファイルの数	最大録 画時間 (分)	ファイルの数	最大録 画時間 (分)	ファイルの数	最大録 画時間 (分)
16GB	56	56	42	14	117	58	23	11
32GB	112	112	84	28	234	117	46	23
64GB	227	227	170	56	473	236	94	47

※ 残りの2%は、運行記録保存及び製品の安定性のために使用されます。

駐車使用量 0% 設定時

SD 容量	走行 (85%)		走行イベント (11%)		駐車 (0%)		駐車イベント (0%)	
	ファイルの数	最大録 画時間 (分)	ファイルの数	最大録 画時間 (分)	ファイルの数	最大録 画時間 (分)	ファイルの数	最大録 画時間 (分)
16GB	119	119	46	15	0	0	0	0
32GB	239	239	93	31	0	0	0	0
64GB	484	484	188	62	0	0	0	0

※ 残りの4%は、運行記録保存及び製品の安定性のために使用されます。

- <注意>**
1. ファイルを保存するとき、残っているメモリーが起動時1GB以下または録画中800MB以下になると一番古いファイルを削除して新しいファイルを保存します。
 2. モード別ファイルサイズ(1CH、2CH同様)
常時ファイル(108MB、1分)、イベントファイル(36MB、20秒)、
駐車モーション/駐車イベントファイル(52MB、30秒)
 3. 安定的にフォーマットフリーシステムを運用するため、一部の領域がシステムに割り当てられます。

製品名	SmartReco WHSR-510
外形寸法	本体：81.0 x 56.8 x 30.5mm 後方カメラ：58 x 28 x 28 mm
保存媒体	純正micro SD Card Class 10 (最大64GBまで)
録画方式	常時録画、イベント録画、強制録画 駐車モーション録画、駐車イベント録画
カメラ画角	前方カメラ120度[対角] 105度[水平] 60度[垂直] 後方カメラ132度[対角] 110度[水平] 57度[垂直]
タッチパネル	2.4インチ TFTタッチパネル、320x240ドット
保存フレーム	前・後方 最大 27.5 fps
保存解像度	前方 - 1920 x 1080、後方 - 1280 x 720
ビデオ	H.264 (ファイル拡張子：avi)
オーディオ	内蔵マイク、PCM保存
スピーカー	音声案内
加速度 センサー	3軸加速度センサー
セキュリティ LED	前・後方 青色 LED
動作状態 LED	常時録画モード動作時 緑色 LED ON / 駐車監視モード動作時OFF
GPS	外付 GPSモジュール (みちびき対応)
動作電圧	DC 12V / 24V
消費電力	(GPS接続時) 2チャンネル Max. 3.6W、 1チャンネル Max. 2.8W
動作温度	-20℃ ~ 70℃
耐冷耐熱温度	-40℃ ~ 85℃
ビューアー対応OS	Windows 7/ Windows 8.X /Windows10 IE11以上

※本製品並びに製品仕様は品質向上のために予告なしに変更または修正される場合があります。

Q 本体が再起動を繰り返します。／青色のLEDが点灯したまま消えません。

A microSDカードに異常があると再起動を繰り返したり、フリーズする恐れがあります。PCでmicroSDカードをフォーマットしてください。

フォーマット後も症状が改善しない場合はmicroSDカードの寿命が考えられます。microSDカードの買い替えを検討してください。

※ フォーマットを行う前にはお車に身に覚えのない傷や凹みがないかをご確認ください。傷があった場合はフォーマットせず、コンピューターのPC専用ビューアーを使用して駐車監視映像をご確認ください。駐車中に当て逃げに合った可能性があります。

Q 本体のランプがつかなくなりました。

A microSDカードを抜いた状態でエンジンをONしてください。

カード未挿入警告が出ない場合、電源配線の異常が考えられます。

取付店にご相談ください。

カード未挿入警告が出た場合microSDカードの異常が考えられます。

PCでmicroSDカードをフォーマットしてください。

フォーマット後も症状が改善しない場合は、microSDカードの異常もしくは寿命が考えられます。

販売店もしくはスマートレコインフォメーションセンターにご相談ください。

Q ビューアープログラムが消えてしまいました。

A 下記のダウンロードページよりダウンロードする事ができます。

ダウンロードページ

URL:<http://www.whitehouse.co.jp/smartreco/download/>

ダウンロードパスワード : smareco

Q ビューアーをインストールしましたが、起動しません。

A コンピューターの仕様などを確認する必要があります。
弊社のホームページに詳しい対処方法が掲載されています。
下記のページをご確認ください。
<http://www.whitehouse.co.jp/smartreco/faq>

Q イベントファイルは上書きされませんか？

A イベントファイルも保存できる最大容量が決まっています。その容量を超えると一番古いファイルから上書きされます。

Q 駐車監視モードが作動しない（エンジン停止時に駐車監視モードに切り替えられない）音声案内が出る）

A 設定を確認ください。以下の設定の場合、駐車監視モードは作動しません。

1. 駐車監視モードスイッチが「P-OFF」になっている。
【常時録画画面で確認できます】
2. 駐車監視モード 使用容量が 0%になっている。
【環境設定で確認できます】

Q 駐車監視モードが作動しない（エンジン停止後、本体前面青色LEDが点滅するが設定時間が経過する前に消えてしまう）

A 以下の2点をご確認ください。

1. バッテリー電圧の低下のため、電源遮断が発生した可能性があります。
Setupフォルダ内のcutoff.txtを確認ください。お車のバッテリー電圧も確認してください。
2. 本体温度が高温になり遮断された可能性があります。
Setupフォルダ内のcutoff.txtを確認ください。

Q タッチパネル画面が表示されない

A 画面をタッチすれば表示が復帰します。高温動作のため消灯している場合は音声案内が流れます。

※ 駐車監視モード中はタッチパネルは消灯します。

Q トラック・バス等の24V電源の車両でも使用できますか？

A 24V電源でも使用可能です。駐車監視モードの遮断電圧は、設定値の倍の電圧で作動します。

例：11.9Vで設定した場合、23.8V ($11.9 \times 2 = 23.8$) で遮断されます。

Q 最大録画時間まで録画していないのに、pcでMicroSDカードを表示すると容量をほとんど使用しています。

A フォーマットフリーシステム運用のため、容量を使用しているように表示されます。録画は問題無く行われます。

【 製品保証規定 】

1. 保証期間は製品を購入した日から2年間です。
2. 取扱説明書に従った正常な使用で故障した場合は、無償で修理または同等品との交換を行います。その際には、本保証書と販売店が発行した購入証明書(レシート等)が必要となります。
3. 次のような場合は保証期間内においても有償修理またはお取扱いできない場合がございます。
 - お客様の取扱い不注意による故障。
 - 本製品を不適切に使用または取扱ったことによる故障。
 - お買い上げ後の輸送や移動時の落下や損傷など。
 - 地震、落雷、風水害、火災、その他の天変地異及び交通事故等による故障及び損傷。
 - 接続している他の機器、及び不適切なカードの使用に起因して本製品に生じた故障及び損傷。
 - 弊社指定のサービス店以外での修理・改造・分解が行われた場合。
 - 消耗品（microSDカードを含む）
 - 本証書を提示いただけない場合。購入証明書を提示いただけない場合。
 - 修理依頼事項の不具合内容が確認できない場合は基本点検料をご請求させて頂く場合がございます。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

【 輸入販売元 】

株式会社TCL 〒465-0024 愛知県名古屋市名東区本郷3-139

URL: <http://www.whitehouse.co.jp/>

【インフォメーションセンター】

0561-67-5511 受付時間 10:00~18:00（弊社指定休日を除く）

URL: <http://www.smartreco.jp/>

株式会社TCL スマートレコインフォメーションセンター

〒470-0153

愛知県愛知郡東郷町和合北蚊谷29-1 オートプラネット名古屋内

製品保証書

製品名	WHSR-510			
製造番号				
保証期間	購入日	年	月	日から 2年間
お客様	お名前		連絡先	
	住所			
販売店				



MEMO



MEMO

カーライフのあらゆるシーンを、スマートに記録。

Smart Reco

New Standard of Smart Car Life



発売元 株式会社TCL

本社 〒465-0024 名古屋市名東区本郷 3-139
スマートレコ インフォメーションセンター Tel. 0561-67-5511

www.smartreco.jp MADE IN KOREA